

# 取扱説明書

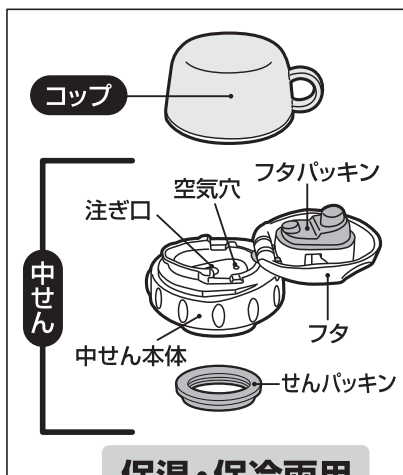
品番：FET-601WS

## 重要

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
部品購入時に必要になりますので捨てずに保管してください。

## 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



### 保温・保冷両用

※中せん使用时

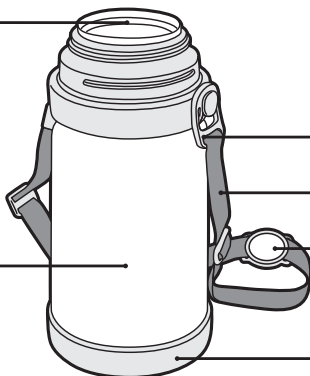


### 保冷専用

※キャップユニット使用时

本体内側

本体



# ご注意とお願い

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

## 表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。




 <b>警告</b>	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	 <b>注意</b>	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。
---	----------------------------	---	------------------------------


■図記号について

 <b>禁止</b>	してはいけない内容(禁止)を表しています。	 <b>必ずおこなう</b>	必ずお守りいただく内容を表しています。
---	-----------------------	---	---------------------



## 安全上の注意

### ⚠ 警告

中せん・ キャップユニット 使用時 	保護者の目の届かないところで使用させないでください。また乳幼児のいたずらには十分に注意してください。 *やけどやけがの原因になります。		⊘ 禁止
	取りはずした部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。 *誤飲して窒息の原因になります。		⊘ 禁止
	乳幼児・小学生のお子様は、ショルダーヒモを首からかけずに肩からなめ掛けしてください。 *ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。		⚠ 必ずおこなう
	ショルダーヒモをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。 *ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。		⊘ 禁止

キャップユニット 使用時 	熱い飲みものは入れないでください。 *熱い飲みものが直接口内に入るため、やけどの原因になります。 *内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、やけどやけがの原因になります。	⊘ 禁止
---	---	------

### ⚠ 注意

中せん・ キャップユニット 使用時 	飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。 ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。 *やけどや変形・変色の原因になります。		⊘ 禁止
---	--	---	------

次のものは絶対に入れないでください。

●**ドライアイス・炭酸飲料**

\*内圧が上がリ、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

●**牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの**

⊙禁止

\*腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

⊙禁止

●**みそ汁・スープなど塩分を含んだもの**

\*本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

⊙禁止


●**お茶の葉・果肉**

\*注ぎ口やすきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

⊙禁止

中せん・  
キャップユニット  
使用時



中せん・キャップユニットは、それぞれ2つのパッキンを正しく取り付け、確実に閉めてください。【 P.7・9】

\*漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

❗必ずおこなう

飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

\*腐敗や変質の原因になります。また腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

⊙禁止

お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

●**煮沸はしないでください。**

\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

●**食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。**

⊙禁止

\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

⊙禁止

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

\*けがや漏れてやけどの原因になります。また保温・保冷不良や中せん・キャップユニットの故障の原因になります。


⊙禁止

電子レンジに入れないでください。


\*金属部がスパークして、電子レンジが故障する原因になります。

\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。⊙禁止


改造・分解・修理は絶対にしないでください。

\*故障・事故の原因になります。(修理はお買い上げの販売店、またはお問い合わせ先にご相談ください。)**【P.12】**  禁止


大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。

\*変形して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。  必ずおこなう


ショルダーヒモを持って振りまわしたり、強く引っばったりしないでください。

\*振りまわすなどして周囲の人と接触した場合、けがの原因になります。また強く引っばると、ショルダーヒモが破損する原因になります。  禁止

フタを開けた状態でフタを持ってまわさないでください。

\*変形・破損して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。  禁止

本体に飲みものを入れる際は、転倒に注意してください。

\*飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。  必ずおこなう

中せん・  
キャップユニット  
使用時



暑い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

● 直接飲まないでください。

\*やけどの原因になります。



 禁止

● 傾けた状態、または顔などを近づけた状態で中せんのフタを開けないでください。

\*内圧が上がり、飲みものが急激に出たり、飛散したりして、やけどなどの原因になります。

 禁止

● コップに注ぐときは本体を急に傾けないでください。

\*急に傾けると飲みものが勢いよく出て、やけどなどの原因になります。

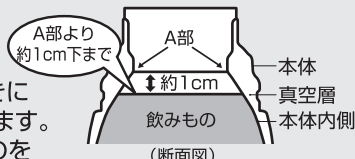
 禁止

中せん使用時



飲みものの量は図の位置までにしてください。

\*入れすぎると、中せんを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、やけどやものを汚す原因になります。



 必ずおこなう

コップの持ち手を持って運ばないでください。

\*本体が抜け落ちて、けがの原因になります。

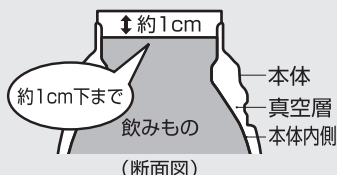
 禁止

キャップユニット  
使用時



飲みものの量は図の位置までに  
してください。

\*入れすぎると、キャップユニットを  
閉めたときに飲みものがあふれ  
出る原因になります。また使用中に  
漏れて、ものを汚す原因になります。



❗ 必ずおこなう

ロックリングを持って運んだり、振りまわしたりしないでください。

\*指をはさんだり、落としたりして、けがの原因になります。またロック  
リングの故障の原因になります。

⊘ 禁止

## 使用上のお願い

中せん・  
キャップユニット  
使用時



お出かけ前に、本体を逆さにして漏れないことを確認して  
ください。

\*漏れた場合はP.11「こんなときは・・・」の項目をお確かめください。

❗ 必ずおこなう

バッグなどに入れる際は、万一の漏れを防ぐために本体を  
縦置きにしてください。また製品と貴重品（携帯電話・  
カメラ等）を一緒に入れないでください。

❗ 必ずおこなう

製品には必ず専用の部品を取り付けてください。❗ 必ずおこなう

中せん使用時



熱いお茶などはお早めにお飲みください。

\*お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が  
時間とともに変化するためのもので人体に害はありません。おいしく  
召し上がるにはティーバッグなどのご利用をおすすめします。

コップは内側に残った水滴を振りきった後、よく拭いてから  
本体に取り付けてください。

キャップユニット  
使用時



製品の構造上、湿度が高いとき、キャップユニットに水滴が付く  
(結露する)ことがありますのでご注意ください。

持ち運ぶ際は、ロックリングを確実にロックしてください。

❗ 必ずおこなう

# 中せんのご使用方法

ご使用前にP.10「お手入れ方法」を確認の上、  
コップ・中せん・本体側を十分に洗ってください。

## ① コップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の方向にまわしてはずします。

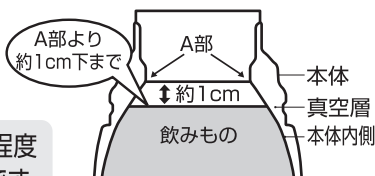


## ② 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、中せんを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。



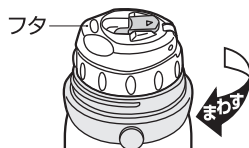
本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



(断面図)

## ③ 中せんを閉める

フタを閉めた状態で、中せんを矢印の方向にまわして確実に閉めます。

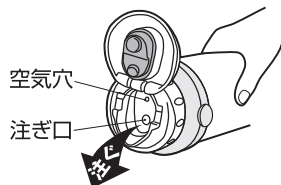


## ④ 飲みものを注ぐ

① 本体を立てた状態で、中せんのスライド部を矢印の方向に押し、フタを開けます。

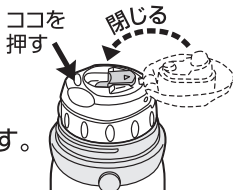
② 本体を持って注ぎ口方向へゆっくりと傾け、注ぎます。

ココを押す



## ⑤ 注ぎ終わったら

① 本体を立てた状態にしてフタを閉じ、先端を矢印の方向に押し、確実に閉めます。



② コップを矢印の方向にまわして閉めます。



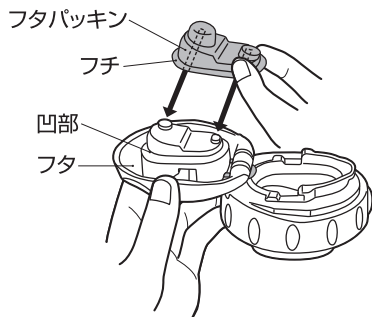
## 中せんのパッキンの取り付け方

取り付け後は、フタが正常に動くことを確認してください。

中せんは2つのパッキンを正しく取り付け、確実に閉めてください。  
※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。

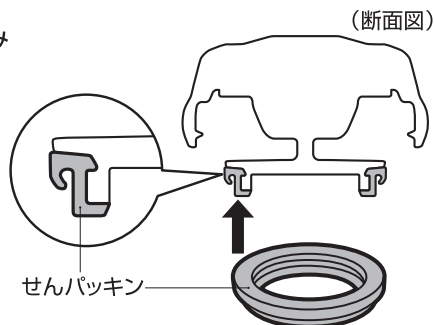
### ① フタパッキンの取り付け方

パッキンの穴をフタの突起部に合わせた後、全体にかぶせ、パッキンのフチがフタの凹部にはまるまで、すきまができないように全周にわたって押し込みます。



### ② せんパッキンの取り付け方

図の位置に全周にわたってはめ込みます。取り付け後は、パッキンが浮かないように指でまんべんなく押し込みます。



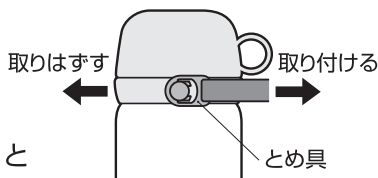
## ショルダーヒモの取りはずし方・取り付け方

### 取りはずす

とめ具を図の向きにして、矢印の方向へ押しはずします。

### 取り付け

とめ具をはずすときと逆方向に“カチッ”と音がするまで差し込みます。

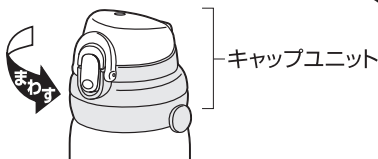


# キャップユニットのご使用方法

ご使用前にP.10「お手入れ方法」を確認の上、  
キャップユニット・本体内側を十分に洗ってください。

## ① キャップユニットをはずす

キャップユニットを矢印の方向に  
まわしてはずします。

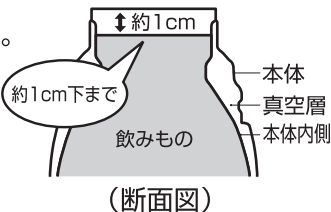


## ② 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。  
入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに  
飲みものがあふれ出る原因になります。



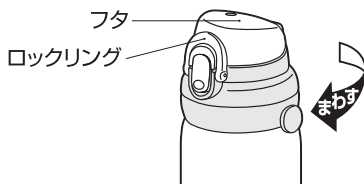
本体に少量の冷水を入れ、1分程度  
予冷すると保冷に効果的です。



## ③ キャップユニットを閉める

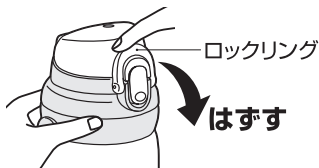
フタを閉めた状態で、キャップユニットを  
矢印の方向にまわして確実に閉めます。

※ロックリングがロックされている  
ことを確認してください。

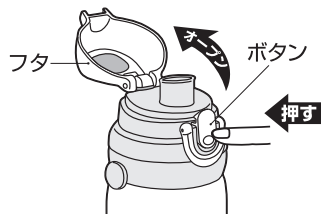


## ④ 飲みものを飲む

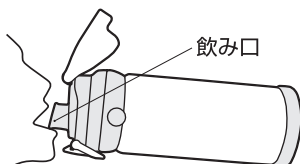
① 本体を立てた状態で、ロックリングを  
矢印の方向に動かしてはずします。



② **ボタン下部**を押して、  
フタを開けます。



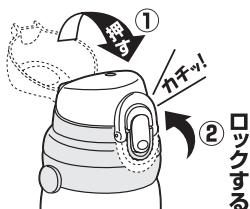
③ 飲み口に口をつけて、  
ゆっくり傾けながら  
飲みます。





## 5 飲み終わったら

- ① 本体を立てた状態にして、フタを“カチッ”と音がするまで押して、確実に閉めます。
- ② ロックリングを矢印の方向に動かし、確実にロックします。

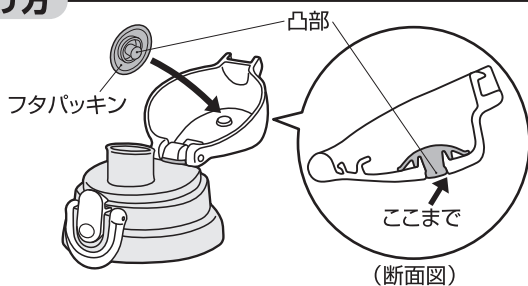


## キャップユニットのパッキンの取り付け方 正しく取り付けられていないと漏れの原因になります。

キャップユニットは2つのパッキンを正しく取り付け、確実に閉めてください。

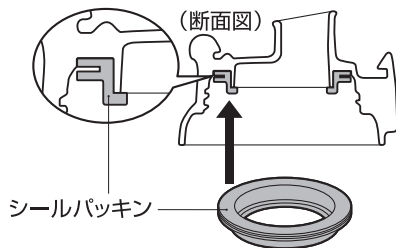
### 1 フタパッキンの取り付け方

凸部をフタの丸い穴に確実に押し込みます。



### 2 シールパッキンの取り付け方

図の位置に全周にわたってはめ込みます。取り付け後は、パッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。



# お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は、下表に従って台所用漂白剤（目安:30分）を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
コップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 漂白剤</li> </ul>	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
中せん・キャップユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 酸素系漂白剤</li> <li>× 塩素系漂白剤</li> </ul>	きれいに洗い、水滴が残らないように数回振った後、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。お手入れの後はそれぞれ2つのパッキンを正しく取り付けてください。【P.7・9】
パッキン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 漂白剤</li> </ul>	使用後すぐに中せん・キャップユニットから取りはずし、きれいに洗い、十分乾燥させてください。
本体	内側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 酸素系漂白剤（ポット用洗剤）</li> <li>× 塩素系漂白剤</li> </ul> <p>きれいに洗い、十分乾燥させてください。 酸素系漂白剤またはポット用洗剤を使用する際、本体は中せんやキャップユニットで密閉しないでください。 ※本体の内圧が上がり、中せんやキャップユニットが飛び出すなど危険です。</p>
	外側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>× つけ洗い</li> <li>× 漂白剤</li> </ul> <p>きれいに洗い、よく振って水を切り、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。</p>

## お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 煮沸はしないでください。  
\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。 ○ 禁止
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。  
\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ○ 禁止
- 本体は水中に放置しないでください。  
\*本体と底カバーとのすきまに水が浸入し、さびや保温・保冷不良などの原因になります。 ○ 禁止
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。  
\*さびや傷などの原因になります。 ○ 禁止
- 本体・中せん・キャップユニットは塩素系漂白剤を使用しないでください。  
\*さびや保温・保冷不良などの原因になります。また中せん・キャップユニットの故障の原因になります。 ○ 禁止
- 本体外側は漂白剤を使用しないでください。  
\*塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ○ 禁止

不具合	原因	対処方法
中せん・キャップユニットから漏れた	中せん・フタが確実に閉まっていない	中せん・フタは確実に閉めてください。 【☞P.6④⑤】
	キャップユニット・フタが確実に閉まっていない	キャップユニット・フタは確実に閉めてください。 【☞P.8③・P.9⑤】
	飲みものを入れすぎている	飲みものは規定の量までにしてください。 【☞P.6②・P.8②】
	パッキンがはずれている	パッキンはそれぞれ正しい位置に確実に取り付けてください。【☞P.7・9】
	中せん・キャップユニットやパッキンが破損・消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。 【☞P.12】
底から漏れた	底カバーの中に水が浸入している	底カバーの水抜き穴から水を出してください。
飲みものが出にくい (中せん使用時)	注ぎ口・空気穴が氷や飲みものでふさがれている	中せんをはずして、軽く振ったり、たたいたりして取り除いてください。
本体内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤またはポット用洗剤を使用してください。【☞P.10】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、中せん・キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていない	熱い(冷たい)飲みものを入れてください。また、あらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておくとお効果的です。
	飲みものの量が少ない	飲みものの量を多くすると効果的です。
異臭がする	本体内側や中せん・キャップユニットに汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤またはポット用洗剤を使用してください。【☞P.10】
パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。【☞P.10】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。【☞P.12】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買上げの販売店またはお問い合わせ先にご相談ください。【☞P.12】

# 仕様

部品名		材料の種類	耐熱・耐冷温度
本体	内側	ステンレス鋼	—
	外側	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)	—
コップ		ポリプロピレン	100度 -20度
中せん	中せん本体・フタ	ポリプロピレン	100度 -20度
	フタパッキン・せんパッキン	シリコン	140度 -20度
キャップユニット	キャップ本体・フタ・ボタン	ポリプロピレン	100度 -20度
	ロックリング	ポリアセタール	100度 -20度
	フタパッキン・シールパッキン	シリコン	140度 -20度

保温効力(中せん使用時)：75度以上(6時間) 45度以上(24時間)

保冷効力(キャップユニット使用時)：10度以下(6時間)

## 交換用部品のご案内

品番	部品名	メーカー希望小売価格
FET-601WS	FETコップ	420円(本体価格400円)
	FET中栓 ※	735円(本体価格700円)
	FET中栓パッキンセット	210円(本体価格200円)
	FETキャップユニット ※※	525円(本体価格500円)
	FETキャップユニットパッキンセット	210円(本体価格200円)
	FETショルダーヒモ	315円(本体価格300円)

◆商品終了等により同色での用意ができない場合がございますが、ご了承ください。

※FET中栓(中栓パッキンセット付き)

※※FETキャップユニット(キャップユニットパッキンセット付き)

上記交換用部品につきましては、お近くのサンリオ商品取扱店におきましても取り寄せができますので、お問い合わせください。なお、お電話にてご注文を承ります時は、別途送料はお客様の負担となりますことをあらかじめご了承ください。

品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一製品に不具合がございましたら、お買いあげいただきました販売店または、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

発売元 株式会社サンリオ

製造元 サーマス株式会社

商品に関するお問い合わせ先

〒141-8603 東京都品川区大崎1-6-1

03-3779-8148

受付時間：10時～17時(土日祝日を除く)

<http://www.sanrio.co.jp/>